



ESD 推進センターニュース

第2号 2010年5月10日 発行：北海道教育大学釧路校 ESD 推進センター

釧路市城山 1-15-55 <http://esdc.kus.hokkyodai.ac.jp> Tel: 0154-44-3214 Fax: 0154-44-3218

センター長就任のご挨拶

神田 房行（センター長）

ESD（持続可能な開発のための教育）の概念は 1992 年の世界サミットで合意された「持続可能な開発」（Sustainable Development）の考え方をベースにしています。「持続可能な開発」は 1987 年の国連の「環境と開発に関する世界委員会」（ブルントラント委員会）の最終報告書「われら共有の未来」（Our Common Future）で「将来世代のニーズを満たしつつ、現在の世代のニーズも満足させる開発」と定義されてから、多くの国で受け入れられるようになった考え方です。そして「持続可能な開発のための教育」（ESD）のあり方が検討され、1987 年の国連のテサロニキ会議でそれまでの環境教育の考え方が、ESD へと大きくシフトしていくことになります。



現在の ESD の考え方は、これまでの環境問題解決のための環境教育からさらに進化した考え方になっています。「個人の態度の変化」から「社会的、経済的、政治的構造及びライフスタイルの転換」へ、あるいは、「気づき、知識、理解、技術の習得」から「公正、正義、民主主義、尊敬、行動する力」などへと、前者を内包しながらも守備範囲を大きく広げています

このような世界の流れを受けて北海道教育大学釧路校は、ESD についての調査・研究、持続可能な社会実現を目指す教員や地域活動人材の育成支援、地域と連携した ESD 活動の推進を目的とした「ESD 推進センター」の設置を平成 20 年 9 月に決定しました。当センターの前身である「環境教育情報センター」はこれまで 10 年間、研究紀要の発行、環境教育に関するイベントの開催などに取り組んできました。ESD 推進センターでは更に活動の幅を広げて、研究紀要（「ESD・環境教育研究」に改題）の継続発行に加えて、「ESD プランナー資格」の認証、公開講座の実施、ESD 活動における大学教員・学生と地域の学校、教育関係施設、個人・企業・団体との連携・協働の促進などに積極的に取り組んでいこうと考えています。

センター長退任にあたって

生方 秀紀（前センター長）

2010年3月末日をもって、任期満了に伴い、ESD推進センター長を退任しました。在任期間はわずか1年半でしたが、センター員一同の熱心な協力を頂くことができ、大過なく任務を遂行することができたことを嬉しく思います。在任中のセンター事業は、このセンターニュースの1、2号で紹介されていますので詳細は繰り返しません。ESDプランナーの認証の開始とユネスコ・スクール・フォーラムの開催は、大きな足跡として残るものと自負しております。また、公開講座や地域ESDセミナー等、地域の皆様にESDについて知っていただく活動も積極的に行いました。今後は、神田新センター長のリーダーシップのもと、センターの全学組織化やESDの一層の普及・推進に向けて力強い前進がなされることを期待しています。

公開講座「ESDの現在～世界の現場からのレポート～」を実施しました

当センターと現代GPプロジェクトとの共催による公開講座「ESDの現在～世界の現場からのレポート～」(全7回)を実施しました。毎回受講者と講師の間で熱気のある質疑応答がなされ、最終回には各受講者がそれぞれの日常における環境活動や地域活動について報告し、相互討論が活発に行われました。



写真左：第一回目（生方センター長の講義風景）



写真右：第二回目（神田教授の講義風景）

会 場 釧路校201講義室

講座の日程、内容、講師（実績）:

1 1月7日（土）13：30～16：00

- ESDとは何か 教授 生方 秀紀

1 2月12日（土）13：30～16：00

- オーストラリア・ケニアの先住民とESD 准教授 諫山 邦子

1 2月19日（土）13：30～16：00

- 原発・放射能と環境 教授 田丸 典彦

1月23日(土) 13:30~16:00

- ベトナム、人と環境 准教授 廣田 健
- コスタリカとエコツーリズム 教授 生方 秀紀

1月30日(土) 13:30~16:00

- フィンランドの教育思想 准教授 大森 享
- 葛巻町と自然エネルギー教育 准教授 大森 享

2月11日(祝) 13:30~16:00

- フランスにユネスコを尋ねて 准教授 北澤一利
- イエローストーン、ESDの源流 准教授 川崎 惣一

2月20日(土) 13:30~16:00

- オーストラリア・ケニアの先住民とESD 准教授 諫山 邦子

3月6日(土) 13:30~16:00

- 総合討論 教授 生方 秀紀

第3回「ESDプランナー」認定証授与式を行いました

2010年3月18日に、北海道教育大学釧路校において、第3回(2009年度後期)「ESDプランナー」認定証授与式を行いました。授与式では、新たに「ESDプランナー」に認定された学生2名(うち1名は代理受領に、蛭田眞一副学長(釧路校担当)から認定証が手渡されました。これで、釧路校に「ESDプランナー」制度が発足して以来7人(うち1人は市民)がこの資格を取得しました。ESD推進センターでは、2010年度以降も同様に資格認定を継続します。



写真左：蛭田副学長(左)から認定証を渡される学生Yさん。

写真右：新しいプランナーを囲んで副学長(右)と生方前ESD推進センター長(左)。

地域ESDセミナーを実施しました

2007年から3カ年の文部科学省現代GPプロジェクト『持続可能な社会実現への地域融合キャンパス』が2010年3月末でつつがなく終了することを記念して、現代GPにおける調査・研究・教育活動の成果を報告し、一般市民や学生との意見交流を通してESD(持続可能な開発のための教育)についての理解を共有することを目的として地域ESDセミナーを実施しました。



- (1) 実施場所：北海道教育大学釧路校 201 講義室 (入場無料、申込み不要)
- (2) 日程、講演テーマおよび講師
 - 1) 3月10日(水) 午前10時～11時半： 301 講義室
「豊かな自然を生かしたESD」
田丸 典彦(釧路校教授)
諫山 邦子(釧路校准教授)
 - 2) 3月11日(木) 10～12時： 小ホール
「釧路の地域力の再生とESD」(悪天候のため中止)
講師 北澤 一利(釧路校准教授)
 - 3) 3月18日(木) 10～11時半： 201 講義室
「ブラジルの持続可能な地域共同体(キロンボ)について」
講師 生方 秀紀
 - 4) 3月22日(月) 15～16時半： 302 講義室
「アラスカにおけるESD」
講師 神田 房行(釧路校教授)
 - 5) 3月24日(水) 10時半～12時： 201 講義室
「貧困とESD - インドのストリートチルドレンを事例に - 」
講師 添田 祥史(釧路校講師)
 - 6) 3月25日(木) 10～11時半： 201 講義室
「立ち止まってESDを考える～現代GP3年間を振り返って」
講師 生方 秀紀(前ESD推進センター長)

センター紀要『ESD・環境教育研究』を刊行しました

当センターの研究紀要である、『ESD・環境教育研究』を昨年3月の第11巻に引き続き、今年3月末日に第12巻(1号)を刊行しました。この紀要は、当センターの前身である環境教育情報センターの研究紀要「環境教育研究」を改題し、巻・号は継続したものです。以下に、11巻、12巻の目次をご紹介します。

11巻

巻頭言

阿部 治：北海道教育大学釧路校 ESD 推進センターへの期待	1
北沢克己：北海道教育大学釧路校 ESD 推進センターへの開設に際して	2
蛭田真一：ESD 推進センターの開設と「ESD・環境教育研究」の発刊を祝す	3
生方秀紀：「ESD・環境教育研究」の発刊に際して	4

論文

佐々木 巽：マレーシア・クチン市周辺 of 自然環境	5
川崎惣一：ESD において賭けられているもの	13
六田晴洋・弘中 豊・安倍 弘：飼育実験によるヤマトコマチグモ (<i>Cheiracanthium lascivum</i>) の生活史特性	23

実践報告

神田房行：世界遺産屋久島とエコツーリズム	31
----------------------	----

資料

北海道教育大学釧路校「ESD 推進センター」について	41
----------------------------	----

12巻

論文

鎌田浩子：家庭科における環境教育の内容と今後の課題	1
川崎惣一：あめりか環境思想におけるウィルダネスの観念	7

視察研修報告

登藤珠実：平成21年「世界遺産学習全国プレサミット in なら 奈良教育大学ユネスコスクール教育実践研究大会」	17
--	----

実践報告

川崎惣一：ユネスコ・スクールフォーラム in 釧路	25
---------------------------	----

資料

北海道教育大学釧路校「ESD 推進センターニュース」	29
----------------------------	----

寄付金によるESD図書の常備について

当センターのESD活動への支援を目的として、市民ESDプランナー第一号を取得された伊織嬌子様から寄付金をお寄せいただきました。伊織様にはこの場を借りて御礼申し上げます。センター員会議で検討した結果、ESDについての最新の単行本である『ESDをつくる - 地域でひらく未来への教育 - 』（ミネルヴァ書房、生方・神田・大森 編著）21冊を購入し、センターに常備して学生や市民のESD関連セミナー・講座に活用することにしました。どうぞご活用ください。

ESD推進センター員の交代

平成22年3月31日付で生方秀紀前センター長が退任し、4月1日付で神田房行教授が新しいセンター長に就任しました。新しいセンター員に添田祥史講師が就任しました。

センター員：

- ・ 神田 房行(センター長)(理科教育講座)
- ・ 大森 享(学校教育講座)
- ・ 栢野 彰秀(理科教育講座)
- ・ 川崎 惣一(社会科教育講座)
- ・ 北澤 一利(保健体育講座)
- ・ 木戸口正宏(学校教育講座)
- ・ 境 千尋(学校教育講座)
- ・ 添田 祥史(学校教育講座)

センター研究員：

センター員全員のほか、下記の4名が研究員に委嘱されています。

- 諫山 邦子(学校教育講座)
- 生方 秀紀(理科教育講座)
- 玉井 康之(学校教育講座)
- 田丸 典彦(技術科教育講座)
- 長澤 徹(技術科教育講座)
- 平岡 亮(保健体育講座)

ESDプランナー資格科目一覧の改訂について

3月4日のセンター員会議で、ESDプランナーの資格科目一覧の改訂を行いました。今後はこの一覧に基づいてプランナーの認定を行います。

表 1 . E S D プランナー資格科目一覧

資格科目： 合計 16EP
 資格科目は今後変更されることがあります。
 は必須科目
 は実務経験により代替可能な科目

アドベンチャー教育
 地域教育概論
 * 環境教育活動Ⅰ、Ⅱ
 * 地域教育活動Ⅰ、Ⅱ

<地域イントロダクトリー科目群>

各 2 EP、計 6 EP
 環境リテラシー (ESD 論を含む)
 環境教育
 子どもと環境教育
 地域の自然環境
 地域社会と環境
 環境と産業技術
 地域文化と触れ合う

<地域ビジョン開発科目群 A>

各 2 EP、計 2 EP
 環境教育プランニング演習Ⅰ
 子どもと環境教育演習Ⅰ
 地域の自然環境演習Ⅰ
 地域の生態系演習Ⅰ
 地域社会と環境演習Ⅰ
 環境教育と農業演習Ⅰ
 環境教育と工業演習Ⅰ
 アドベンチャー教育演習Ⅰ
 地域健康教育コーディネート演習Ⅰ
 地域文化演習Ⅰ
 地域情報ネットワーク演習Ⅰ
 地域社会教育演習
 地域教育とスポーツ演習
 <地域ビジョン開発科目群 B>
 * 各 1 EP、計 2 EP
 * 環境教育活動Ⅲ,Ⅳ
 * 地域教育活動Ⅲ,Ⅳ * チャレンジプロジェクト (正規授業ではない自主活動 ; 1 EP 相当)

<地域トライアル科目群>

* 各 1 EP、計 2 EP
 * 東北北海道 アウトドアトライアル
 * 釧路湿原 エコウォッチング
 * 環境教育と産業トライアル
 * 地域と情報ネットワーク

<地域プラクティス科目群>

各 2 EP (* 各 1 EP)、計 4 EP
 地域ボランティア
 地域健康教育コーディネート

北海道教育大学釧路校 E S D 推進センター

〒085-8580 北海道釧路市城山 1-15-55

電話 : 0154-44-3214

FAX : 0154-44-3218

センター公式 Web サイト : <http://esdc.kus.hokkyodai.ac.jp/>

電子メール : syomu@kus.hokkyodai.ac.jp